



たまきゅう便り

新年のご挨拶

多摩丘陵病院 院長 島津元秀

皆様明けましておめでとうございます。

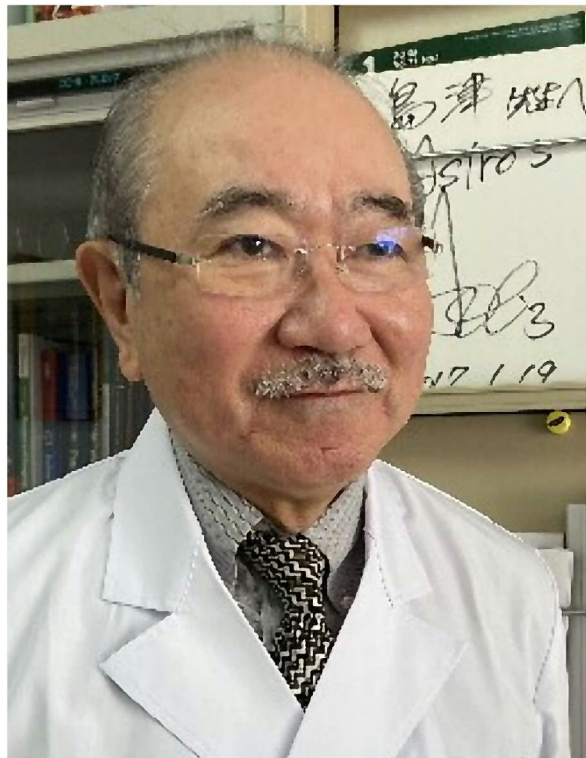
昨年は新型コロナウイルスの猛威で世界中が被害を受け、暗く重苦しい1年でした。国民全ての生活が一変し、なかでも医療関係者はハイリスクな環境の中でストレスの多い仕事をこなさなければなりません。

日本では2020年1月16日に初めての感染者が確認された後、当院でも対応を迫られるようになり、いち早く1月27日の感染対策委員会での対応が提示されました。2月から指定感染症になり、当院では疑い患者来院時の対応、面会原則禁止、マスクの在庫管理などの対策が次々に実施されました。その後世界各国で大きな被害が報告されるようになり、3月11日にはWHOがパンデミック宣言を出しました。サージカルマスク、手指消毒薬の不足が深刻化し、海外からの入国制限拡大などが始まったのもこの頃です。4月7日には緊急事態宣言が発令され、一度延長され5月25日までその態勢が続きました。この間、当院では入館者の全員検温、発熱患者・一般患者・職員3者の出入口の分離、発熱患者トリアージのためのテント設置など総力戦で感染防止に努めました。そのような体制の中、4月に別疾患で入院された患者さんが入院後発熱し、胸部CTおよびPCRで新型コロナウイルス肺炎と診断されましたが、嚴重な感染防御対策のお陰で他の入院患者さんや職員に感染することなくアウトブレイクを阻止しました。ICTや病棟スタッフを中心とする素晴らしいチームワークの賜物と職員達を誇らしく思いました。昨年末には3波の到来で全国ならびに東京の患者数も過去最多を更新し、新年を迎えても先行きの見えない状況ですが、新年早々暗い話ばかりではいけませんので、明るい話題に移りたいと思います。

発行
多摩丘陵病院
広報委員会
町田市下小山田町
1491

2020年度から当院は療養病棟を回復期リハビリ病棟に転換し、総病床数は31床のまま回復リハを11床に増床しました。お陰様で新回復リハ病棟は稼働も順調で、過去半年の実績に基づき今年から入院料1が算定できる見込みです。さらに今年は、急性期を中心とした新病院の建設、回復期リハビリを中心とした現病院の再整備、およびこの両病院を両輪とする一大ケアミックス医療施設構想という医療法人社団幸隆会創始以来の大事業が実行に移されます。まさに2021年はこの一大プロジェクトの実行元年という記念すべき年であります。新型コロナウイルスの暗い世相の中、我々の多摩丘陵病院は明るい未来に向かってまた新しい一步を踏み出します。新病院はハード面の近代化を図り、専門性のある急性期医療を発展させる一方で、「生きる力を支え合い、ぬくもりのある医療と看護を提供します」という本院の理念を守り、患者さんにやさしく、地域に密着した病院であり続けたいと思います。

職員はもとより関係する全ての皆様方の一層のご協力とご支援・ご指導をお願い申し上げます。



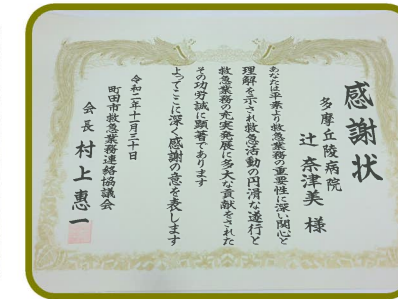
町田市救急業務連絡協議会より感謝状を頂きました

町田市救急業務連絡協議会より救急業務の功労者として当院看護師2名が表彰され町田市救急業務連絡協議会の会長であります、村上恵一先生より感謝状を頂きました。感謝状を頂いたのは下記2名です。

感染管理認定看護師 辻 奈津美 院長

《表彰理由》

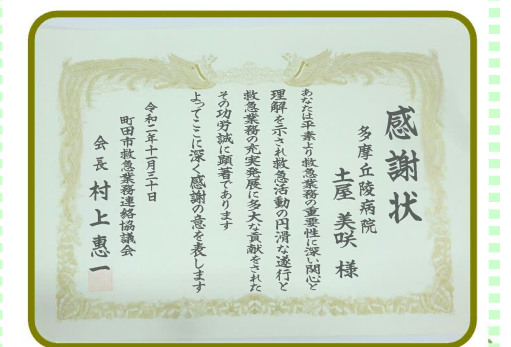
感染管理認定看護師としてコロナ対応等にあたり発熱外来の整備を行い救急隊及び一般の発熱患者の受入に貢献した。



外来 土屋 美咲 看護師

《表彰理由》

昨年2月11日に路上で倒れている男性を発見し胸骨圧迫等の救急処置を施し、駆け付けた救急隊に引き継ぎをし、男性は一命を取り止めた。



前列左から 村上恵一先生 土屋美咲さん 辻奈津美さん

GO TO 人間ドック

多摩丘陵病院 健康管理部

「新しい生活様式」と生活習慣病

新型コロナウイルスが、猛威を振るい、世界的なパンデミックを起こし、私たちの従来の生活様式は一変しました。皆さんもご存じの通り、「新しい生活様式」はマスクの着用、手洗いの徹底、三密を避けた行動、ソーシャルディスタンスの確保を軸に、買い物の仕方や働き方の改革、新たな食事のマナー、娯楽やスポーツ等の制限、公共交通機関の利用方法の変化など多岐にわたります。感染拡大防止のため私たちに求められていることは、新たな生活習慣を一人ひとりが実践していくことです。

一方、この「新しい生活様式」による在宅勤務・外出の自粛・行動の制限を伴う生活の変化が、運動不足・不規則な食生活・不安やストレス等の生活リズムの乱れを引き起こし、糖尿病・高脂血症・高血圧症等に代表される生活習慣病を発症、または悪化させる危険も懸念されています。

新型コロナウイルスは、生活習慣病を含む基礎疾患を有する人が感染した場合、重症化リスクが高いという報告があります。感染予防も勿論大切ですが、感染した時に重症化させないための健康管理も併せて重要になります。Withコロナの時代、私たちは、感染予防対策のための「新しい生活様式」が、生活習慣病を助長する結果となり重症化リスクを高めるという悪循環だけは避けなければなりません。

Withコロナで、健康管理の重要性を再認識

健康診断の目的は、がんなどの悪性疾患や各種の潜在している疾病の早期発見でもあります。しかし、それだけに留まることなく、生活習慣の見直しや改善により、健康増進を図り、生活習慣病等の発病を予防する「一次予防」が目的でもあります。コロナ渦の中、私たちは定期的に自分の身体を調べ、基礎疾患の有無を確認し、生活習慣病等の改善、またはその発症を事前に防ぐことが、より一層求められます。新型コロナウイルスに限らず、かぜ症候群や季節性のインフルエンザ、または未知のウイルスに対して、自己免疫力を上げ自衛を強めると共に、その重症化リスクを回避するためには、日常の体調管理を実行し健康を維持することが何より大切です。まずは人間ドックや健康診断などで自分の健康状態を客観的に評価し、一人ひとりの健康状態にあった生活習慣の見直しと実践の機会を作りましょう。

当施設での新たな取り組み

昨年、当施設では新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により、4月13日～5月17日までの全健診の休止を余儀なくされましたが、5月18日より感染予防対策を強化し、皆さんが安心して受診できる環境を整え、新たな受け入れ体制を整備し営業を開始しております。

🔴【10時からの受け入れの運用開始】

受診者数の制限に伴い、時間差での受け入れを実施いたします。従来の8時受付に加え、新たに10時受付のご案内をしております。

🔴【午後健診（検診）枠の拡大と健診内容の充実】

月曜日～金曜日までの午後の受け入れ数を増やし、肺ドック・内臓脂肪 ドック・骨ドック・動脈硬化ドック等のオプション検査の実施も可能となりました。子宮がん検診（木曜日を除く）・乳房触診・マンモグラフィ検査（月曜日を除く）もご案内出来ます。※乳腺エコーもご相談ください。

🔴【午後の脳ドックの開設】

月・水・金曜日の午後にも脳ドックの受け入れが可能となりました。

当施設では、三密を回避し徹底した感染予防対策を実施のうえ、受診者の各々のニーズにあったフレキシブルな対応を可能にし、少しでも多くの皆さんに受診の機会を得て頂くよう努めております。また、健診結果に基づき、医師・保健師・看護師・管理栄養士・健康運動指導士が日常生活で実践できる具体的な生活習慣改善のアドバイスや提案等をさせていただきます。健康診断をご利用して頂き、コロナに負けない健康づくりと健康寿命の伸長を共に目指しましょう。

※健診（検診）内容、ご要望については、どうぞお気軽にご相談ください。 TEL 042-797-1512

人間ドック健診施設 機能評価の認定を受けました

当院健康管理部が、良質な健診サービスをご提供できる健診施設の証として、令和2年11月28日に日本人間ドック学会・日本病院会より人間ドック健診施設機能評価の認定を受けました。

町田市内では初の認定施設となり、東京都内でも数少ない認定施設の一つです。

今後も健康管理部の理念に基づいて、より一層のサービスをご提供出来るよう努めてまいります。

健康管理部理念

1. 包括的な予防医療を目指します

2. 質の高い健診と親切で丁寧な対応を提供します

3. 地域の皆様の健康管理に貢献します

